

稲盛研究助成 たかめる

FAQ（よくあるご質問）

1. 申請資格について

1-1. 年齢

年齢制限はありますか？

理工系および生物系は2026年4月1日時点で45歳以下、人社系は55歳以下であることとしています。これらの制限から外れている方の申請は受理いたしません。

1-2. 所属機関、役職、雇用形態等

どの大学・研究機関が指定校かを教えてください。

指定校については、公開しておりません。ご自身の所属される大学、機関が指定校かどうかについては、ご所属先の担当部署にお問合せください。なお、指定校、機関には研究機関の代表の方宛に3月下旬に募集案内をお送りしています。

現在任期付きの職にあり、申請後に（研究期間の途中で）任期が切れますが、申請できますか？

申請できます。

大学に所属の場合は助教あるいは助教相当以上ということですが、大学以外の場合は？

助教あるいは助教相当以上の役職の方とします。

大学院生やポスドクは申請できますか？

申請できません。申請時点でポスドクだが来年の4月から助教となられるような場合も同様です。

現在の役職が「助教相当以上」に当てはまるか分かりません。

原則として、「所属機関において、独立した研究テーマを設定し、研究費の管理や研究成果の発表について自ら責任を負う立場にある助教相当以上の常勤研究者であるか」を基準に、雇用契約等も考慮して推薦者でご判断をお願いします。

申請時点では指定校に所属していませんが、来年の4月から指定校に異動することが決まっています。その場合、申請できますか？

申請できません。

申請時点で、所属先のサバティカル制度により海外に滞在中ですが、申請できますか？

申請時点で指定校で助教あるいは助教相当以上の身分を保持したまま、サバティカル制度を利用して一時的に海外に在住している場合は、申請は可能です。

1-3. 国籍、申請数、過去に助成を受けた方・現在助成期間中の方

外国籍の人が申請することは可能ですか？

可能です。申請資格を満たしていれば、国籍は問いません。

複数の申請区分（理工系・生物系・人社系）に申請することはできますか？

できません。ご自身の判断で研究内容に最も適合する申請区分および小区分を一つずつお選びください。

「はぐくむ」と「たかめる」を同時に申請することはできますか？

できません。

過去に稲盛研究助成を受けたことがあります、再び申請することはできますか？

申請することは可能です。ただし稲盛財団の研究助成を重複して受けることはできないので、稲盛研究助成を受けて延長期間を含めて現在研究期間中の方は、2027年3月末までに研究を完了していることが必要です。所定の報告書が提出されていない場合は助成できません。また、InaRISフェローの任期中の方も申請できません。

以前稲盛研究助成を受けている人が「たかめる」に申請する場合、前回に採択された研究内容の延長線上の研究である必要はありますか？それ以外の従来研究の内容で、それをさらに発展させる、という形でも申請は可能でしょうか？

必要ありません。助成対象研究に限らずご自身の研究をさらに発展させる内容ということで結構です。

2. 申請書について

2-1. 申請書の構成

申請書はどのような構成で、どこから様式を入手できますか？

所定のサイト (<https://inamori.yoshida-p.net/>) にアクセスし、マイページを作成してください。申請書は7ページで構成されています。1～2、7ページはマイページに入力いただいた内容がPDF化されます。3～6ページはマイページからMS-Word形式のフォーマットをダウンロードして作成いただきます。詳細は募集要項をご覧ください。

2-2. 申請書の記入

申請書の記入例はありますか？

以下をご参照ください。

https://www.inamori-f.or.jp/research_grants/hagukumu_takameru

日本語以外での申請は可能ですか？

募集要項および申請書様式は日本語のみです。所定の申請用ウェブページで直接入力いただく部分のうち「和文」と指定されている箇所以外、および申請書ワードファイルに記入いただく部分については英文での記入は可能です。日本語または英語以外の言語での申請は受け

付けません。

アブストラクトは和文では500字以内となっていますが、英語で記入する場合の文字数は？

スペースを含め、半角英数1,000字以内です。

申請書のページを増やしたり、枠を拡大したりすることは可能ですか？

申請書ワードファイルの作成においては、ページ増加、レイアウト変更は不可です。変更をされている場合、書類不備で無効とさせていただくことがあります。

スペースが限られているので、字を小さくしてもいいですか？

申請書ワードファイルへの記入は、和文、英文ともフォントはMSPゴシック11ポイントを厳守してください。これが守られていない場合、書類不備で無効とさせていただくことがあります。

研究計画の概要欄に図表を挿入することは可能でしょうか？また、図はカラーでもよいですか？

どちらも結構です。図を挿入する場合、図内あるいは表題の文字ポイントの指定まではしませんが、表題の文字やグラフ上の数字があまり小さくならないようご注意ください。図を入れることで枠を拡大させるのは認められません。

誰かに推薦文を書いてもらって添付すること、あるいは申請書の他に論文等の資料を添付することは可能ですか？

できません。選考は申請書のみで行われます。

他の助成財団から助成を受けているものあるいは申請中のものと同じ研究題目で稲盛研究助成に申請することはできますか。

できます。ただし本助成に申請する研究題目が他の獲得中または申請中の競争的資金と同一となる場合は、その資金の規定にも注意して申請してください。題目の重複が禁止されている場合があります。当該研究助成で実施する研究内容を適切に表す研究題目をつけてください。

「研究資金の受領状況」の入力について、2024年度以降受領した他の助成金・補助金・奨励金があれば・・・とありますが、2024年度以前から継続しているものについてはどのように入力すればいいですか？

受領開始から受領終了までの受領期間および金額をすべて入力してください。

「研究資金の受領状況」には、申請中のものも入力するのでしょうか？

申請中で助成が決定していないものについては、入力いただく必要はありません。

「研究資金の受領状況」には、学内研究費および受託研究費なども入力するのでしょうか？

公募により競争的に（審査を経て）獲得される競争的研究費については入力してください。

ただし、競争的研究費ではない学内研究費および受託研究費については入力いただく必要はありません。

3. 申請数および推薦者について

3-1. 機関あたりの申請数

1機関あたり、あるいは推薦者1名あたりの申請数に制限はありますか？

1機関あたりの応募は10件までです。

機関とは、大学単位ではなくて、学科や附置研単位でしょうか？

「たかめる」の件数制限および推薦者は大学単位です。

「たかめる」は1機関から10件までとのことですが、10件のうちの系による件数には制限はあるのでしょうか。たとえば10件すべて理工系でもよいのでしょうか？

10件の内訳の制限はありません。すべて理工系ということでも結構です。

3-2. 推薦者

どのような役職の人が推薦者になれるのでしょうか？

申請には申請者の所属する研究機関の代表者（例：大学の場合は学長、大学共同利用機関法人の場合は機構長、国立研究開発法人の場合は理事長）の推薦を必要とします。

推薦者の役割は？

当該機関の申請者数が10件までであること、募集要項に記載している資格要件を申請者が有していること、管理的経費および助成の中止、取り消しに関わる記載について確認の上、推薦いただきます。

推薦者欄の押印は、私印では不可でしょうか？

公印の押された申請書のみ受理いたします。

4. 共同研究

共同研究は可能でしょうか？

可能です。ただし助成金は申請者が全額管理してください。

稲盛研究助成における共同研究者とは？

申請者に協力して、研究の遂行に必要な科学的・技術的貢献をする人です。

共同研究については、申請書のどこに記入すればよいですか？

「研究計画」 「2. 内容」の「2-1. 具体的な研究内容」のところに、共同研究者の氏名・所属・役職と、どのような役割をお願いするのかを記入してください。

共同研究者に助成金を分担金として配分して、共同研究者の裁量で研究費を執行することはできますか？

できません。

共同研究者に謝金や旅費等を支払うことができますか？

科学的・技術的貢献に対して、謝金や必要経費(旅費等を含む)を支払うことができます。

5. 選考

選考はどのように行われるのでしょうか？

まず、選考委員が分担して1次書類審査を行った後、理工系、生物系、人社系でそれぞれ全委員による2次書類審査を行います。次にそれぞれの系ごとに選考委員会を開催し、2次書類審査の結果に基づいて合議審査を行い、助成対象候補を選びます。最終的に理事会にて正式決定いたします。

選考委員は公開されていますか？

選考委員は非公開です。ただし、助成対象者の発表時に公開いたします。

6. 内定およびその後の手続き

内定の通知はあるのでしょうか？

選考委員会にて助成対象候補に選ばれた方には、その旨をメールでご連絡します。それを受けて、本助成を受ける意思を示された段階で内定となります。

助成年度開始時には申請時点とは別の機関に異動することになりました。何か手続きは必要ですか？

助成が内定した方で助成年度開始時（2027年4月）の所属機関が申請時点と異なる場合は、新しい所属先の研究機関の部局の長等による承諾書を提出いただきます。また、異動先が海外の場合は本助成を受けることはできません。

上の項目にある所属先の部局の長等による承諾書とは、どのような内容のものですか？

- ・当該助成対象者が常勤で所属機関に正式に雇用されていること、主体的に研究を行えることの証明
- ・当該助成対象者が当該研究機関で助成対象研究を行うことを承諾、および募集要項に記載された申請資格を有すること、本助成金の管理的経費の扱い、助成の中止、取り消しに関わる事項の承諾

7. 決定後について

募集要項には研究期間は3年とあります。3回助成金をもらえるのですか？

助成金の贈呈は初年度に一括（1,000万円）です。

研究期間が3年なので、助成金は年度をまたいで使用することになりますが、その際の手続きはどのようなものですか？

3年間を通じて1,000万円をご使用いただければ結構です。特別な手続きは不要です。

研究期間が3年となっていますが、1年目、2年目終了時点での進捗報告をする必要はありますか？

必要ありません。

研究期間中に所属機関を異動する場合でも、継続可能でしょうか？

可能です。

調査に行く予定だった地域で大規模な自然災害が発生し、行けなくなりました。研究計画の変更あるいは研究期間を延長することは可能でしょうか？

地震、台風などの自然災害、戦争、内乱、テロ行為、重大な疾病など、対象者の責に帰すことができない事由や、出産・育児、介護などのライフサイクルにおいて生じる事由により、研究計画の変更あるいは研究期間の延長を希望される場合は、まず事務局にご相談ください。

同時期に他の研究助成を受けることは可能ですか？

可能です。ただし、稲盛財団の他の助成と重複して受けることはできません。

事情があり、研究題目を変更したい。

内定後の研究題目の変更はできません。また、選考委員会では研究題目が研究内容・計画を適切に表しているかも含めて審査しています。研究題目の変更が生じないように慎重にご検討ください。

他の研究助成との合算使用は可能ですか？

可能です。

研究期間中にサバティカル制度により海外に滞在しますが、海外で研究を遂行することは可能ですか？

可能です。ただし、滞在費は、採択研究の遂行に直接必要と認められる期間に限り支出対象となるため、事前にご相談ください。

8. その他

倍率はどれくらいでしょうか？

去年は22.5倍でした。